

インターバンクの声（2017 年 10 月 10 日）

週明けの外国為替市場は、アジア時間では日本が体育の日で休場となり、海外時間も米国がコロンブスデーで債券市場が休場だったとあって欧州市場の動きも鈍かったことから、円相場も 112 円 50 銭台～70 銭台までの小幅なレンジ内での値動きに終始した。

ユーロの対ドル相場も 1.17ドル台中盤を中心とした静かな取引が続いた。金曜日に発表された 9 月の米雇用統計後、16 年 7 ヶ月ぶりの低水準まで低下した失業率と平均時給の伸びを好感してドル買いになったものの、米西海岸が射程距離に入る長距離ミサイルの発射実験を北朝鮮が準備しているとの報道によってドルが急落した後の水準が続いている。

今週のアジア市場は中国勢も国慶節の長い休暇から戻り、日本も連休明けから戻って、ようやく普段通りの市場になるが、相場に動きが出易いのはやはり欧米の時間帯だろう。

雇用統計の結果から FRB の 12 月利上げ確率はさらに高まったが、今週も米経済指標を追いかけることになりそうだ。もともと今日は北朝鮮労働党創建記念日のため、ミサイル発射などの軍事挑発を起こすことが気掛かりだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。